

# 「統計データ分析コンペティション2024」受賞者及び受賞論文

## ～ 高校生の部 ～

受賞者	受賞論文(タイトル及び概要)
<b>【総務大臣賞】</b> 佐々木 万悠子 (雙葉高等学校)	<b>食の外部化における地域特性</b> 新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響により、外食から中食へのシフトが進んでいる状況に着目し、都道府県庁所在市別にどのように異なるかを比較分析し、食の外部化(外食と中食)の傾向が地域により異なり、その背景は生活環境が大きく影響すると考えられることを示唆した。
<b>【優秀賞】</b> 黒木 喬士郎、井上 和幸、 高山 大綺、玉田 章人 (大分工業高等専門学校情報工学科)	<b>福祉支援を通じた過疎化対策の提案</b> 過疎化が進行している地域において、福祉支援が人口増加に与える影響を調査し、福祉施設の利用者割合と人口増加率の間には一貫した相関は見られなかったものの、特定の地域では福祉施設の充実が人口増加に寄与している可能性を示唆した。
<b>【統計数理賞】</b> 大河内 花音 (愛知県立一宮高等学校)	<b>子供の体力・運動能力</b> 子供の体力・運動能力の向上・低下に関係する要因を見つけるため、都道府県別に分析を行い、運動習慣が運動能力に大きな影響を与えており、運動系の習い事や外で遊びやすい環境を作ることや、生活習慣を整え学校での勉強にも力を注ぐことが、結果的に運動能力の向上につながることを示唆した。
<b>【統計活用奨励賞】</b> 過 目今 (法政大学国際高等学校)	<b>医療費削減に向けたスポーツ時間増加策のデータ分析</b> 医療費削減に向けスポーツ時間を障害する要因を見つけるため、スポーツ行動者率とスポーツ行動者平均時間の二つについて分析し、青少年期では、睡眠時間とスポーツ時間の確保が重要であり、現役世代では、健康への危機感からスポーツをする強い動機になることや、飲みニケーションは障害要因であることを示し、シニア世代においては、寝すぎを避けることとスポーツ仲間作りが重要であることを示した。

# 「統計データ分析コンペティション2024」受賞者及び受賞論文

## ～ 大学生・一般の部 ～

受賞者	受賞論文(タイトル及び概要)
<p><b>【総務大臣賞】</b> 中江 芙佳、緒方 奏士、 山本 真大、佐々木 大地 (同志社大学文化情報学部文化情報学科)</p>	<p>COVID-19 の 5類感染症移行後における宿泊者数損失の要因分析</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により宿泊業が受けた経済的損失を都道府県単位で定量化し要因分析を行い、宿泊業を担う労働力となり得る人口の割合が高いほど損失も少なく、観光資源のタイプにより受ける損失が異なることを示唆した。</p>
<p><b>【優秀賞】</b> 天野 葵、伊藤 愛、神谷 珠里 (南山大学総合政策学部総合政策学科)</p>	<p>合計特殊出生率の決定要因の影響はコロナ禍で変化したのか</p> <p>少子高齢化と新型コロナウイルスの二つの分野に焦点を当て、新型コロナウイルスが合計特殊出生率の決定要因にどのような影響を与えたのかについて分析し、コロナ禍において、一般病院数割合が出生率との相関が強くなったことや、教育費割合の増加が出生率に与えていた負の影響が弱まったことを示した。</p>
<p><b>【統計数理賞】</b> 北岡 和真、上水 天翔、 濟田 翔也、山内 菜月、山田 花帆 (南山大学経済学部経済学科)</p>	<p>日本における人口集中と経済成長の関係性 —閾値回帰モデルを用いた都道府県別分析—</p> <p>都道府県別に人口集中が経済成長に与える影響を実証分析し、人口密度が低い地域では一人当たり雇用者所得(労働生産性)の影響が大きいことから人的資本を育成することが重要であり、人口密度が高い地域では知的資本を活用することが重要であることを示唆した。</p>
<p><b>【統計活用奨励賞】</b> NGUYEN THI NGOC ANH、 NGUYEN THI MINH QUY (青森中央学院大学経営法学部経営法学科)</p>	<p>金融資産購入経験の要因分析 —金融教育、損失回避傾向、Digital Capability Index に注目して—</p> <p>都道府県別に人々の金融に関連する行動の違いを、金融に関する教育や理解度により説明するモデルにより推定し、金融教育の経験の有無よりも、実際に金融に関する知識の深さや判断力の高さが、金融資産の購入経験者割合を高めるとともに、デジタル機器の利用可能性の高さが、株式購入等の経験者割合を高める可能性があることを示した。</p>

# 「統計データ分析コンペティション2024」

## 【高校生の部】

### ～審査員奨励賞～

受賞者	受賞論文(タイトル)
稲葉 拓真 (洛星高等学校)	少子化進行抑止のための家庭・社会要因の探究
井上 咲春 (名古屋大学教育学部附属高等学校)	都市部とへき地の生徒間の英語能力の格差を是正するためには
倉本 佳詩野 (宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校)	学力と外見への投資に関する回帰モデルを用いた分析
徐 煌哲 (かえつ有明高等学校)	う蝕罹患に関する要因の研究とよりよい生活の提案
西口 理子 (愛知県立一宮高等学校)	鳥獣被害の原因と対策提案
原田 理矢 (鳥取城北高等学校)	顎・足・枕が多様な観光客にどのような影響を及ぼすのか

### ～学校表彰～

#### 受賞校

愛知県立一宮高等学校、大分工業高等専門学校、かえつ有明高等学校

# 「統計データ分析コンペティション2024」

## 【大学生・一般の部】～審査員奨励賞～

受賞者	受賞論文(タイトル)
<b>市村 遼、甲斐 千尋、松尾 倫太郎、 柳内 怜子</b> (中央大学商学部) <b>黒岩 陸、齋藤 来未</b> (中央大学文学部)	ごみの削減とリサイクルを推進する要因 —環境ボランティアは、ごみ削減の効果を持つのか—
<b>衣川 凌太</b> (神戸大学国際人間科学部環境共生学科)	地方創生を推進する多角的複合指標の提案 —SVMに基づく主観的でない変数選択と重み付け手法の検討—
<b>陣内 未来</b> (九州大学大学院人間環境学府) <b>立山 皓基</b> (九州大学教育学部)	中学生の言語による表現を巡る規定要因分析 —潜在意味解析とElastic Net回帰を用いた分析—
<b>関屋 百々花</b> (一橋大学社会学部社会学科) <b>上原 颯馬、橋口 裕平、馬場 健生</b> (一橋大学商学部経営学科)	データ駆動型因果探索による投票率変動要因の解明 —全1639市区町村の投票率データを使用して—
<b>中原 智哉、山崎 柊丞</b> (早稲田大学基幹理工学部応用数理学科)	小学生の運動能力についての要因分析
<b>宮内 弘太</b> (一般財団法人計量計画研究所研究本部)	XAIを用いた介護業界における地域別の従業者数の就業要因に関する —考察